

PDU 初期設定ガイド

(ファームウェアバージョン v3.4.0 対応版)

目次

概要.....	2
v3.4.0 新機能.....	2
取り付け方法.....	2
ネットワークへの接続.....	2
ネットワーク初期設定.....	3
A. Web ブラウザからの設定.....	3
B. コマンドラインインターフェース (CLI) からの設定.....	4
カスケード接続.....	7
付録 A: モバイルデバイスまたは PDView による設定.....	11
付録 B: ネットワーク設定コマンド.....	13
付録 C: v3.4.0 によるコマンドの変更点.....	14
付録 D: iX7 コントローラによるコマンドの変更点.....	16

概要

ラリタンのインテリジェントラック PDU シリーズではファームウェアバージョン v3.4.0 において、機能の強化および、一部コマンドの変更が実施されています。

本クイックセットアップガイドでは、ファームウェア v3.4.0 における設定方法について説明します。また、本ファームウェア v3.4.0 は、他の PDU 製品 (PX3, PX2, PXE, PX3TS, EMX など) でも共通で使用可能です (※ハードウェア固有の機能差により、異なる部分がございます)。

v3.4.0 新機能

- 一括設定ファイル生成時の設定項目の任意選択をサポート [55672]
<https://help.raritan.com/px3-5000/v3.4.0/en/#95037.htm>
- SmartLock センサー (国内販売計画中) のサポート: DX2-DH2C2 [67118]
- RCM Type B (M18 - 三相モデル対応漏電センサーモデル) のサポート [68712]
- Webcam ビデオ/スナップショットの保存先として FTP サーバーをサポート [63710]
- Cisco ISE RADIUS 対応 MS-CHAPv2 [66468]
- サーキットブレーカーのトリップアナライザー (4000/5000 モデルのみ) [66548]
<https://help.raritan.com/px3-5000/v3.4.0/en/#95298.htm>
- WiFi WPA2 KRACK の脆弱性への対応 [68054]

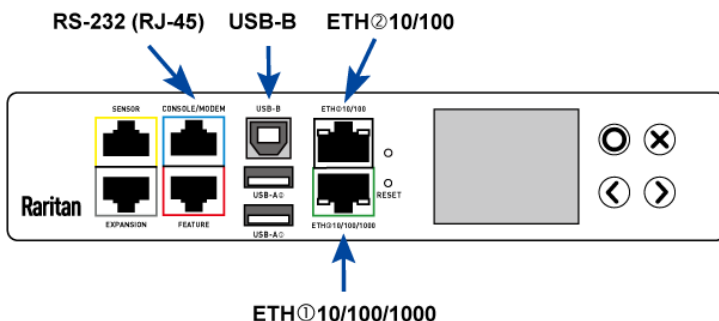
取り付け方法

PDU の取り付け、ラックへのマウント方法、電源への接続等についてはクイックセットアップガイド英語版 (http://cdn.raritan.com/download/px3/version-3.4.0/PX3_PX2_QSG_1C_3.4.0.pdf) を参照してください。

ネットワークへの接続

イーサネット有線接続

- イーサネットケーブル (UTP ケーブル) を PDU のイーサネットポートへ接続します。
 - ケーブルのもう一方の端を LAN へ接続します。
- PX3-iX7 では、2 個のイーサネットポートがあり、“ETH①10/100/1000” と、“ETH②10/100” のいずれも使用可能です。1000bps をサポートする高速な ETH①を推奨します。
 - 両方のイーサネットポートを LAN に接続する場合各々は 2 個の異なるサブネットに接続する必要があります。



ネットワーク初期設定

- ・ DHCP IPv4 ネットワークでは次の「Web ブラウザからの設定」を参照ください。
- ・ 固定 IPv4 あるいは IPv6 ネットワークでは「コマンドラインインターフェース (CLI) からの設定」を参照ください。または「Web ブラウザからの設定」を実施後「Web ブラウザからの固定 IP の設定」により IP アドレスを変更してください。

A. Web ブラウザからの設定

Web ブラウザから PDU を設定する場合次の 2 Step となります。

Step 1: IP アドレスの取得

Step 2: PDU へ WebGUI へのログイン

Step 1: IP アドレスの取得

- ・ PDU の IP アドレス設定はデフォルトでは DHCP となっています。
- ・ DHCP サーバーによって割り当てられた IP アドレスはフロントパネルから確認することが可能です。
- ・ DHCP サーバーが存在しない場合は PDU には次のリンクローカルアドレスが割り当てられます。
https://169.254.x.x (x は 0~254 の数値)
https://pdu.local

PX3 のフロントパネルからの IP アドレスの確認

1. 「×」または「○」ボタンで“Main Menu”を表示します。
2. 「▲」または「▼」ボタンで“Device Info”を選択し、「○」ボタンで決定します。
3. 「▲」または「▼」ボタンで ETH1 または ETH2 の IP アドレスを表示します。

※PX2 では、RS232 シリアルポートもしくは、USB ポートを使用してコンピュータからアクセスして IP アドレスを確認する必要があります。

Step 2: Web GUI へのログイン

PDU は Internet Explorer、Firefox、Chrome の Web ブラウザをサポートしています。

1. Web ブラウザを起動し、Step1 で取得した IP アドレスまたはホスト名 pdu.local を入力します。
2. セキュリティの警告が表示された場合は続行します。
3. デフォルトのユーザ名、パスワードを入力して Login をクリックします。
 - ・ User Name: admin
 - ・ Password: raritan
4. パスワードの変更が要求された場合
 - ・ 変更する場合: 新しいパスワードを入力して Ok をクリック
 - ・ 今回は変更しない場合: Not Now をクリック
 - ・ この先も変更しない場合: Do not ask again を選択して Not Now をクリック

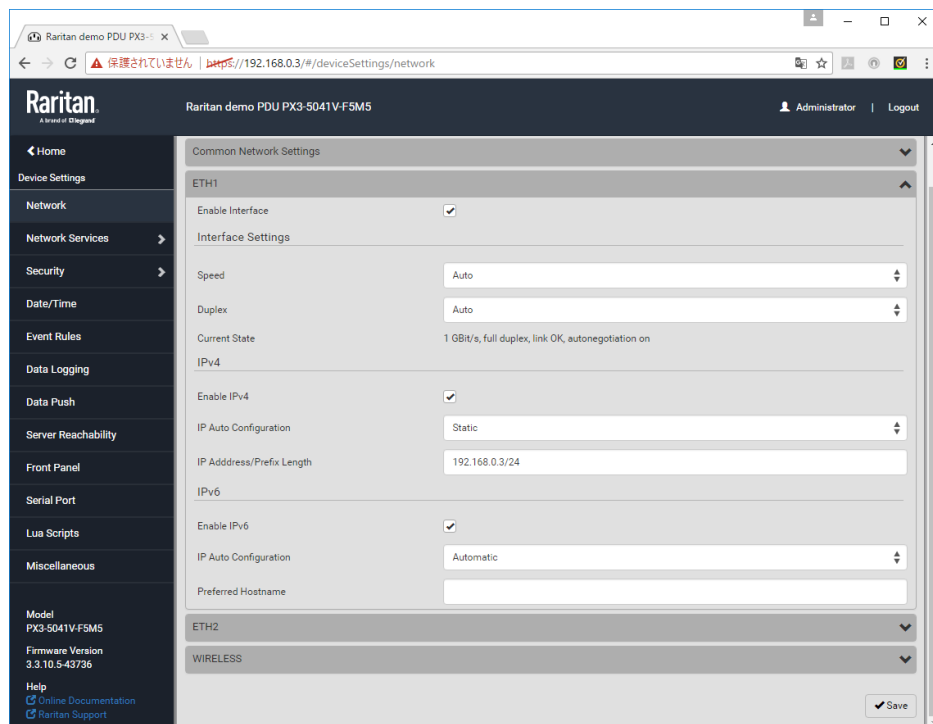
Web ブラウザからの固定 IP アドレスの設定

1. Web GUI 画面左のメニューから Device Settings > Network を開きます
2. ETH1 または ETH2 のセクションの IP Auto Configuration を Static に指定します。(PX3-iX7 のみ、他は、

ETHERNET)

3. IP Address/Prefix Lengthに指定する IP アドレスとサブネットを入力します（例：192.168.0.192/24）。
4. Common Network Settings のセクションに DNS や Default Gateway 等の共通設定項目を入力します。
5. Save ボタンをクリックすると Confirm Network Settings Change ダイアログボックスが表示されるので Apply をクリックすると変更が反映されます。

IP アドレス設定画面



次に実施すべき設定

必要に応じて以下の設定を実施してください。

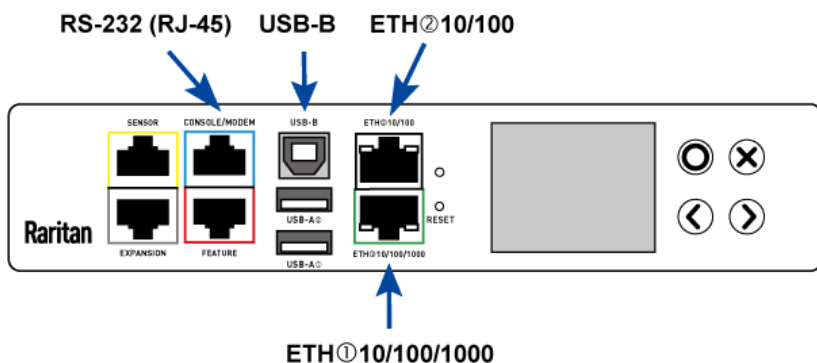
1. 電源を供給する IT 装置を Outlet へ接続。
2. 時刻の設定： Device Settings > Date/Time から NTP サーバーあるいは時刻の設定。
3. メニューから User Profile、privileges、outlet threshold 等の設定。

B. コマンドラインインターフェース (CLI) からの設定

PX3-iX7 はこれまでの PDU と同様にシリアル接続によるコマンドラインインターフェースからの設定が可能です。iX7 コントローラではシリアルポートが RJ-45 に変更されています。またコマンドにも一部変更があります。

PX3-iX7 の “RJ-45” RS-232 コネクタへのシリアル接続

iX7 コントローラは青色の CONSOLE/MODEM と記された RJ-45 のシリアルポートを持っています。Blue Cisco adapter ケーブルの様な RJ-45 to DB9 female アダプターまたはケーブルが必要です。



USB ケーブルによるシリアル接続

Windows PC から USB 接続により PX3-iX7 へ接続

1. USB-serial ドライバが Windows にインストールされている必要があります。
 ドライバは、弊社サポートページより事前にダウンロードしてください。
http://cdn.raritan.com/download/px3/version-3.4.0/Dominion_Serial_Setup_3.4.0_44367.exe
 ドライバインストール方法
 (1) PDU に USB が接続されていないことを確認します。
 (2) Dominion-serial-setup-<n>.exe を PC 上で実行し指示に従いドライバをインストールします
2. USB ケーブルで PDU の USB-B ポートと PC の USB-A ポートを接続します。

ターミナルソフトからのコマンドラインインターフェースの実行

シリアルケーブルまたは USB ケーブルで接続された PDU は CLI を実行することが可能です。

1. TeraTerm, PuTTY, Hyper Terminal などのターミナルソフトを起動します。
2. PDU が接続されている COM を以下に設定します。
 - ・ 115200 bps
 - ・ 8 data bit
 - ・ 1 stop bit
 - ・ パリティなし
 - ・ フロー制御なし
3. ターミナルソフトから Enter キーを入力してキャリッジリターンを PDU に送信します。
4. PDU はログインを要求しますのでユーザ名とパスワードを入力します。
 - ・ User Name: admin
 - ・ Password: raritan
5. デフォルトパスワードの変更が要求された場合は変更あるいは無視します。
6. # プロンプトが表示されます。

```

Login for PX2 CLI (192.168.0.3)
Enter 'unblock' to unblock a user.
Username: admin
Password:

Welcome to PX2 CLI!
Last login: 2017-07-02 13:01:22 JST [Web GUI from 192.168.0.114]

#
  
```

7. config と入力し、Enter キーを入力します。

8. ネットワーク設定を行う場合必要なコマンドを入力し、Enter キーを入力します。CLI は大文字小文字を区別します。

コマンドのリストは付録またはオンラインヘルプを参照ください

(<https://help.raritan.com/px3-5000/v3.4.0/en/#16984.htm>)

9. ネットワーク設定が終了したら `apply` と入力して変更を反映します。変更しない場合は `cancel` と入力します。

例：Config モードに入り ETH2 に IPv4 固定アドレス 192.168.1.67/24 を設定

```
# config
config:#
config:# network ipv4 interface ETH2 configMethod static
config:# network ipv4 interface ETH2 address 192.168.1.67/24
config:# apply
#
```

10. 設定値の確認は `#show <command> [Arguments]` コマンドを入力します。

例：ネットワークの設定値確認 `#show network`

```
# show network

Port forwarding
  Status:          Disabled

DNS resolver
  Server:          None
  Search suffix:   None
  Resolver preference: Prefer IPv6 addresses

Routing
  IPv4
    Default gateway:  None
    Static routes:    None
  IPv6
    Default gateway:  None
    Static routes:    None

Interface 'BRIDGE'
  Disabled

Interface 'ETH1'
  Link
    Configured speed:  Automatic
    Configured duplex: Automatic
    Link state:       Autonegotiation On, 1 Gbit/s, Full Duplex, Link OK
    MAC address:      00:0d:5d:10:37:6f
  IPv4
    Config method:     Static
    Address:           192.168.0.3/24
  IPv6
    Config method:     Automatic
    Address:           fe80::20d:5dff:fe10:376f/64 (link local)
    Preferred hostname: Not configured
    DHCPv6 server id:  Address not DHCPv6 assigned

Interface 'ETH2'
  Link
```

```
Configured speed: Automatic
Configured duplex: Automatic
Link state: Autonegotiation On, Speed and duplex unknown, No Link
MAC address: 00:0d:5d:10:37:fa
IPv4
Config method: Static
Address: 192.168.1.67/24
IPv6
Disabled

Interface 'WIRELESS'
Disabled
```

11. #? または各コマンドの後に ? を入力しますと使用可能なコマンドとヘルプが表示されます。例 #show?

カスケード接続

詳細は以下のガイドを参照ください。

- ・ Cascading Guide 英語版
http://cdn.raritan.com/download/px3/version-3.4.0/CascadingGuide_1D_3.4.0.pdf
- ・ オンラインヘルプ “Cascading Multiple PX3 Devices for Sharing Ethernet Connectivity”
<https://help.raritan.com/px3-5000/v3.4.0/en/#46330.htm>

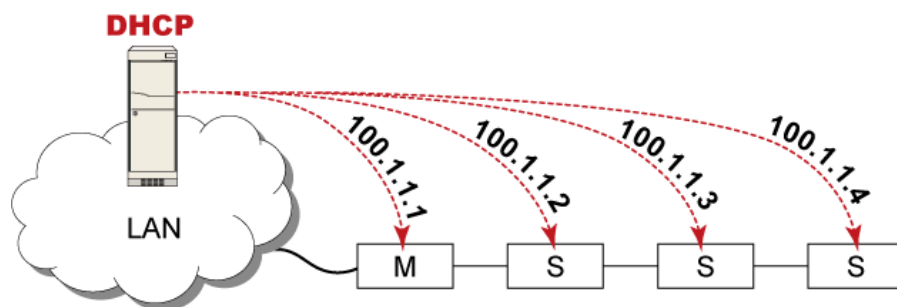
PDU は 1 個のイーサネット接続を共有して複数の PDU を接続することが可能です。(最大 16 台まで)

- ・ USB インターフェース
- ・ イーサネットインターフェース (PX3-iX7)

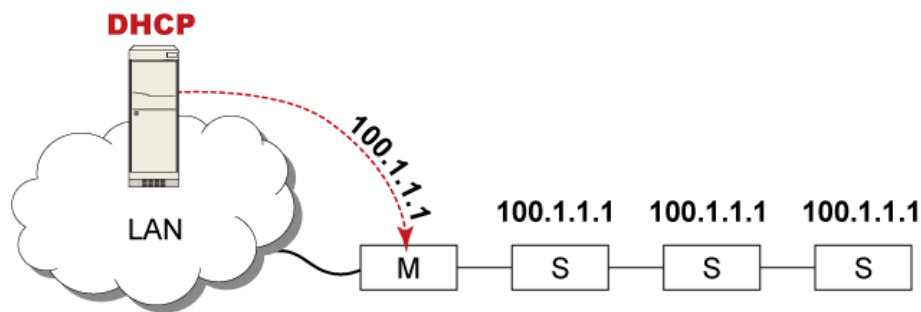
カスケードチェーンの最初の 1 台はマスターデバイスとなり、残りがスレーブデバイスとなります。マスターデバイスのみが LAN に接続されます。

カスケードは次の 2 種類の接続方法で接続されます。

- ・ ブリッジ接続：カスケードチェーンの各デバイスは異なる IP アドレスでアクセスされます。



- ・ ポートフォワーディング接続：カスケードチェーンの各デバイスは同じ IP アドレスの異なるポート番号 (5xxxx) でアクセスされます。



カスケード接続の制限事項

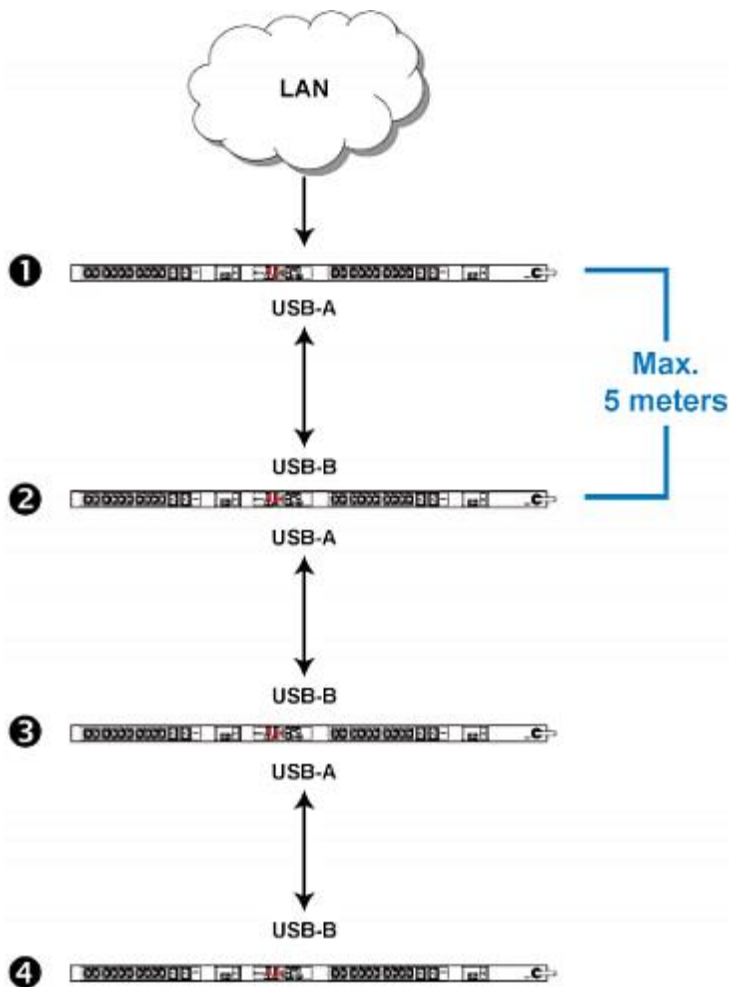
- ・ ブリッジモードではマスターデバイスのみがネットワークとの接続を有します。マスターデバイスがPX3-iX7の場合は2個のイーサネットポートの1個のみネットワークに接続してください。
- ・ スレーブデバイスをLANに直接接続しないでください。

カスケードモード設定方法

1. Web GUI にログインします。
2. Device Setting > Network を選択します。
3. Cascading Mode フィールドから任意のモードを選択します。
 - ・ None: カスケードは使用しない。
 - ・ Bridging: カスケードチェーンの各デバイスは異なる IP でアクセスされます。
 - ・ Port Forwarding: カスケードチェーンの各デバイスはカスケードチェーンの各デバイスは同じ IP アドレスの異なるポート番号 (5xxxx) でアクセスされます。
4. (Device Information ページにポート番号のリストが表示されます。)
5. ポートフォワーディングモードでは次のフィールドを設定します。
 - ・ Role: Master または Slave。マスターデバイスとスレーブデバイスを指定します。
 - ・ Downstream interface: USB または Ethernet (ETH1/ETH2)。マスターデバイスのどのポートがスレーブに接続されるかを指定します。
6. Network setting の設定。
 - ・ Bridging mode: BRIDGE セクションをクリックします。
 - ・ Port forwarding mode: ETHERNET (ETH1/ETH2) をクリックします。
7. Save をクリックします。

USB ポートを使用した PX3 のカスケード

- ・ USB カスケード設定は USB カスケード使用可能なラリタン製品である PX2、PX3、PX3-iX7、transfer switch、BCM、EMX の組合せで使用することができます。
- ・ USB2.0、最大5mのUSBケーブルにより最大16台のデバイスをカスケード接続することができます。



接続方法

1. 全てのデバイスがファームウェア v3.4.0 以降であることを確認します。
2. 1 台をマスターデバイスに選択します。
3. 各デバイスにログインし、全てを同じカスケードモードに設定します。
 - ・ブリッジモード：カスケードモードをブリッジに設定します。
 - ・ポートフォワーディングモード：カスケードモードをポートフォワーディングに設定し、カスケードリングロールとダウンストリームインターフェースが正しく設定されているかを確認します。
4. マスターデバイスを LAN に接続します。
5. マスターデバイスの USB-A ポートを次の PDU の USB-B ポートに接続します。このデバイスはスレーブ 1 となります。
6. スレーブ 1 の USB-A ポートをその次の PDU の USB-B ポートに接続します。このデバイスはスレーブ 2 となります。
7. 他のスレーブデバイスに対して同様に接続を繰り返します。
8. マスターおよびスレーブデバイスのネットワーク設定を必要に応じて設定、変更します。
 - ・ブリッジモード：各カスケードデバイスは DHCP あるいは固定 IP アドレスをそれぞれに設定することができます。
 - ・ポートフォワーディングモード：マスターデバイスのみネットワークを設定する必要があります。

イーサネットポートを使用した PX3-iX7 のカスケードリング

接続方法

1. 全てのデバイスがファームウェア v3.4.0 以降であることを確認します。
2. 1 台をマスターデバイスに選択します。
3. 各デバイスにログインし、全てを同じカスケードリングモードに設定します。
 - ・ブリッジモード：カスケードリングモードをブリッジに設定します。
 - ・ポートフォワーディングモード：カスケードリングモードをポートフォワーディングに設定し、カスケードリングロールとダウンストリームインターフェースが正しく設定されているかを確認します。
4. マスターデバイスを LAN に接続します。
5. マスターデバイスのもう 1 個のイーサネットポート (ETH1/ETH2) を他の PX3 のイーサネットポート (ETH1/ETH2) に接続します。このデバイスはスレーブ 1 となります。
6. スレーブ 1 のもう 1 個のイーサネットポート (ETH1/ETH2) を他の PX3 のイーサネットポート (ETH1/ETH2) に接続します。このデバイスはスレーブ 2 となります。
7. 他のスレーブデバイスに対して同様に接続を繰り返します。
8. マスターおよびスレーブデバイスのネットワーク設定を必要に応じて設定、変更します。
 - ・ブリッジモード：各カスケードデバイスは DHCP あるいは固定 IP アドレスをそれぞれに設定することができます。
 - ・ポートフォワーディングモード：マスターデバイスのみネットワークを設定する必要があります。

以上

付録 A: モバイルデバイスまたは PDView による設定

スマートフォンやタブレットなどの iOS または Android のモバイルデバイスは、PX2 / PX3 のローカルディスプレイとして機能できます。Android デバイスは USB 「On-The-Go」 (OTG) をサポートしている必要があります。

Step1: 「PDView」アプリケーションをダウンロードする

Raritan の無料アプリ 「PDView」 はモバイルデバイスをローカルディスプレイとして使用するために必要です。

PDView をダウンロードするには :

1. Apple App または Google Play ストアにアクセスします。
 - <https://itunes.apple.com/app/raritan-pdview/id780382738>
 - <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.raritan.android.pdview>
2. PDView をインストールします。

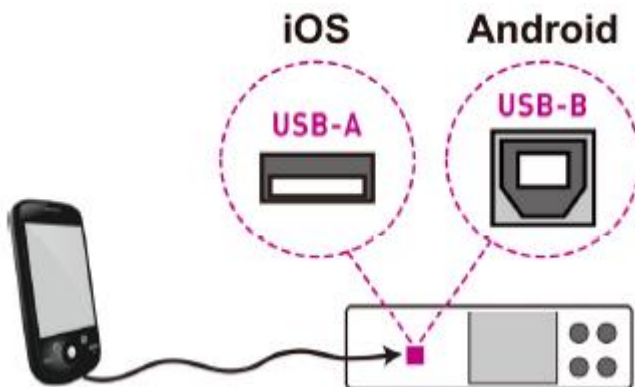


Step2: モバイルデバイスを PX2 / PX3 に接続する

接続する USB ケーブルと USB ポートは、モバイルオペレーティングシステムによって決まります。

モバイルデバイスを PX2 / PX3 に接続するには :

1. お使いのモバイルデバイス用の適切な USB ケーブルを入手します。
 - *iOS*: iOS モバイルデバイスに同梱の標準 USB ケーブルを使用します
 - *Android*: USB OTG アダプタケーブルを使用します。
2. モバイルデバイスを PX2 / PX3 の適切な USB ポートに接続します。
 - *iOS*: USB-A ポート。
 - *Android*: USB-B ポート



Step3: PDView を起動する

PDView を使用して PX2 / PX3 Web インターフェースにアクセスして、設定を表示または変更できます。

・ PX2 / PX3 ウェブインターフェースにアクセスするには :

1. モバイルデバイスで PDView を起動します。
2. PDView が接続された PX2 / PX3 デバイスを検出し、「**Connected**」と緑色で表示されるまで待ちます。

Connected

3. 出荷時のデフォルトのユーザー資格 “admin / raritan” が変更されない場合、PDView は自動的に PX2 / PX3 Web インターフェースにログインします。
変更されている場合は、代わりにログイン画面が表示され、ログインに適切なユーザ資格情報を入力する必要があります。
4. (オプション) 初期ログインの場合は、パスワードの変更を求めるプロンプトが表示されます。 「*Step2 : WebGUI へのログイン*」を参照してください。
5. これで、データを表示したり、PX2 / PX3 の設定を変更することができます。
・ 詳細は Raritan Web サイトのユーザーガイドまたはオンラインヘルプを参照してください。

付録 B: ネットワーク設定コマンド

詳細はオンラインヘルプを参照して下さい(<https://help.raritan.com/px3-5000/v3.4.0/en/#16984.htm>)。

一般的な IP 設定

設定または有効化	使用するコマンド
IPv4 or IPv6 protocol	network <ipvX> interface <ETH> enabled <option> <option> = true, or false
IPv4 configuration method	network ipv4 interface <ETH> configMethod <mode> <mode> = dhcp (default) or static
IPv6 configuration method	network ipv6 interface <ETH> configMethod <mode> <mode> = automatic (default) or static
Preferred host name (optional)	network <ipvX> interface <ETH> preferredHostName <name> <name> = preferred host name
IP address returned by the DNS server	network dns resolverPreference <resolver> <resolver> = preferV4 or preferV6
IP address returned by the DNS server	network dns searchSuffixes <searchSuffixes> <searchSuffixes> = one or multiple optional DNS search suffixes

Static IP 設定

設定項目	使用するコマンド
Static IPv4 or IPv6 address	network <ipvX> interface <ETH> address <ip address> <ip address> = static IP address, with a syntax similar to the example below. Example: 192.168.7.9/24
Static IPv4 or IPv6 gateway	network <ipvX> gateway <ip address> <ip address> = gateway's IP address
IPv4 or IPv6 primary DNS server	network dns firstServer <ip address> <ip address> = DNS server's IP address
IPv4 or IPv6 secondary DNS server	network dns secondServer <ip address> <ip address> = DNS server's IP address
IPv4 or IPv6 third DNS server	network dns thirdServer <ip address> <ip address> = DNS server's IP address

付録 C: v3.4.0 によるコマンドの変更点

F/Wによる Command 変更点	v3.3.10	v3.4.10
<p>config# authentication <command> [arguments...]</p> <p>authentication 設定コマンドの追加</p>	<p>N/A</p>	<p>config:# authentication <command> [arguments...]</p> <p>authentication Configure authentication settings</p> <p>Available commands:</p> <p>ldap Configure LDAP server settings</p> <p>radius Configure Radius server settings</p> <p>type Configure authentication type</p>
<p>config# history <command> [arguments...]</p> <p>history 設定コマンドの廃止</p>	<p>config:# history <command> [arguments...]</p> <p>Available commands:</p> <p>length Configure command history buffer length</p>	<p>N/A</p>
<p>config# network dns [searchSuffixes <searchSuffixes>]</p> <p>dns 設定コマンドに searchSuffixes 項目追加</p>	<p>config:# network dns [firstServer <server1> [secondServer <server2> [thirdServer <server3> [resolverPreference <resolverPreference>]</p> <p>Configure DNS settings</p> <p>firstServer First DNS server</p> <p>secondServer Second DNS server</p> <p>thirdServer Third DNS server</p> <p>resolverPreference DNS resolver preference (preferV4/preferV6)</p>	<p>config:# network dns [firstServer <server1> [secondServer <server2> [thirdServer <server3> [searchSuffixes <searchSuffixes>]</p> <p>[resolverPreference <resolverPreference>]</p> <p>Configure DNS settings</p> <p>firstServer First DNS server</p> <p>secondServer Second DNS server</p> <p>thirdServer Third DNS server</p> <p>searchSuffixes Search suffixes</p> <p>resolverPreference DNS resolver preference (preferV4/preferV6)</p>

<p>config:# pdu [activePoweredDryContactLimit <activepdclimit>]</p> <p>activePoweredDryContactLimit Maximum number of concurrently active powered dry contacts (0.24)</p> <p>pdu 設定コマンドに activePoweredDryContactLimit 項目追加</p>	<pre>pdu [name <name>] [outletSequence <outletseq>] [outletSequenceDelay <seqdelaylist>] [inrushGuardDelay <seqdelay>] [nonCriticalOutlets <noncrit>] [outletStateOnDeviceStartup <startupstate>] [relayBehaviorOnPowerLoss <relaybehavior>] [cyclingPowerOffPeriod <cycledelay>] [outletInitializationDelayOnDeviceStartup <startupdelay>] [dataRetrieval <dataretrieval>] [measurementsPerLogEntry <measperlog>] [externalSensorsZCoordinateFormat <zcoordformat>] [deviceAltitude <altitude>] [peripheralDeviceAutoManagement <pdevautomanagement>]</pre>	<pre>pdu [name <name>] [outletSequence <outletseq>] [outletSequenceDelay <seqdelaylist>] [inrushGuardDelay <seqdelay>] [nonCriticalOutlets <noncrit>] [outletStateOnDeviceStartup <startupstate>] [relayBehaviorOnPowerLoss <relaybehavior>] [cyclingPowerOffPeriod <cycledelay>] [outletInitializationDelayOnDeviceStartup <startupdelay>] [dataRetrieval <dataretrieval>] [measurementsPerLogEntry <measperlog>] [externalSensorsZCoordinateFormat <zcoordformat>] [deviceAltitude <altitude>] [peripheralDeviceAutoManagement <pdevautomanagement>] [activePoweredDryContactLimit <activepdclimit>]</pre>
<p>config:# sensor pdu [arguments...]</p> <p>pdu Edit PDU sensor settings</p> <p>sensor 設定コマンドから pdu 項目の廃止</p>	<pre>config:# sensor <command> [arguments...] Available commands: externalsensor Edit external sensor settings inlet Edit inlet sensor settings outlet Edit outlet sensor settings pdu Edit PDU sensor settings</pre>	<pre>config:# sensor <command> [arguments...] Available commands: externalsensor Edit external sensor settings inlet Edit inlet sensor settings ocp Edit overcurrent protector sensor settings outlet Edit outlet sensor settings</pre>
<p>config:# sensor externalsensor <index> <sensor></p> <p>sensor External sensor type sensor externalsensor 設定コマンドの sensor type 設定項目に acceleration 追加</p>	<pre>config:# sensor externalsensor <index> <sensor> [upperCritical <uc>] [upperWarning <uw>] [lowerWarning <lw>] [lowerCritical <lc>] [hysteresis <hyst>] [assertionTimeout <timeout>] Edit external sensor settings sensor External sensor type (absoluteHumidity/airFlow/airPressure/relativeHumidity/temperature/vibration)</pre>	<pre>config:# sensor externalsensor <index> <sensor> [upperCritical <uc>] [upperWarning <uw>] [lowerWarning <lw>] [lowerCritical <lc>] [hysteresis <hyst>] [assertionTimeout <timeout>] Edit external sensor settings sensor External sensor type (absoluteHumidity/acceleration/airFlow/airPressure/relativeHumidity/temperature/vibration)</pre>

付録 D: iX7 コントローラによるコマンドの変更点

iX7 コントローラによる command 変更点	PX2/PX3	PX3-iX7
<p>interface <interface> Network interface label Ethernet interface の 指定方法</p>	<p>ETHERNET</p> <p>例 1: config:# network ipv4 interface <BRIDGE/ETHERNET/WIRELESS></p> <p>例 2: config:# network portforwarding: masterDownstreamInterface <ETHERNET/USB></p>	<p>ETH1/ETH2</p> <p>例 1: config:# network ipv4 interface <BRIDGE/ETH1/ETH2/WIRELESS></p> <p>例 2: config:# network portforwarding: masterDownstreamInterface <ETH1/ETH2/USB></p>

以上